

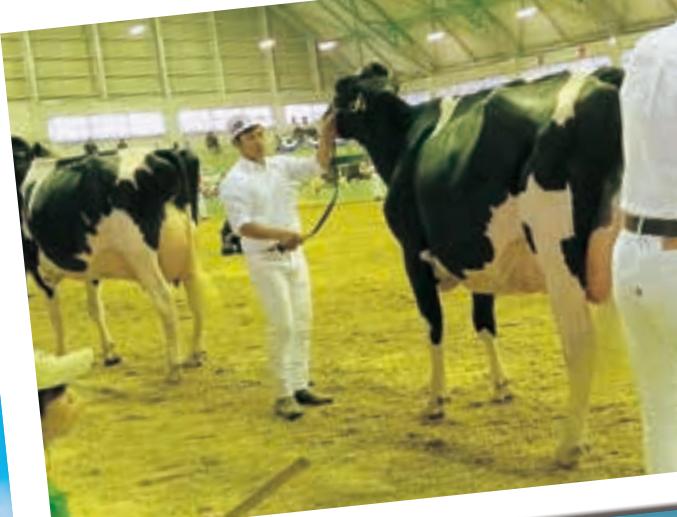
農協だより

2019.11月
No.581

たいき

南十勝酪農女性
プチサミット
3ページ～

南十勝酪農女性プチサミット



北海道
ホルスタイン共進会
5ページ～

大樹町和牛まつり
6ページ～



馬鈴しょ収穫!



馬鈴しょの収穫作業が昨年より2日早い8月17日から始まった。今年の作付面積は、生食・加工・漬原で142.96haとなつており、種子馬鈴しょは採種23品種91.62ha、原種26品種25.49haとなつていて。

J Aでの選別作業は、10月上旬頃から翌年4月までを予定しており、1～10kg箱詰めや20kg紙袋などにして大半を道外へ出荷する。春先から天候が良く、大きな自然災害の影響などもなく、全体的に大玉傾向となつたことで、今後の選別作業において、規格外品による製品歩留まりの低下が懸念される。

予定。

午後の部では、JA大樹町において、6名の受講生が出席の下、第4回農業塾を行つた。

午前の部は、酪農振興課の斎藤莊平氏を講師に「すべての技術は牛のためにある！」と

【市場における畜産の有利販売。繁殖・発情整理の大切さ】

10月2日、JA大樹町において、6名の受講生が出席の下、第4回農業塾を行つた。

午前の部は、酪農振興課の斎藤莊平氏を講師に「すべての技術は牛のためにある！」と

テーマとした講義を行つた。酪農を経営する中で、乳質の安定と高品質化は収入を増加させることに繋がり、地域内での乳価に15円程度の差があることを知つた。

午後の部では、生産改良課の折笠唯史課長と畜産販売課の秋山麗人氏を講師に「市場における畜産の有利販売と繁殖・発情整理の大

切さ！」をテ

ーマとした3年間の振り返りを行つた。

次回は11月5日に「土壤凍結について」と「WEB版マッピングシステム（農産編）」を行う

【第4回 農業塾2019】

酪農部会研修会



田中副部会長

9月9日、JA会議室において、酪農部会研修会を部会員・関係機関併せ16名の出席のもと行つた。

開催にあたり田中

副部会長は「実りの秋を迎えるため、酪農家の基本となる牛の飼養管理について勉強し、一つでも経営に活かせるようになります」と挨拶。

当日は、株式会社石井獣医サポートサービスの石井三都夫氏と十勝農協連の田代真衣子氏を講師に「繁殖改善と子牛事故低減に向けた取組みについて」と「子牛の受動免疫移行調査と初

産牛の体格と生産性について」をテーマに研修を行つた。

講演では、潜在性低カルシウム血症の改善によって子宮炎や子宮内貯留物の発生を抑え、繁殖成績を改善する予防策が重要であることや子牛死廃率低減対策などについて話があり、参加者は熱心に聞き入つていた。

予定。

午後の部では、生産改良課の折笠唯史課長と畜産販売課の秋山麗人氏を講師に「市場における畜産の有利販売と繁殖・発情整理の大

切さ！」をテ

ーマとした3年間の振り返りを行つた。

次回は11月5日に「土壤凍結について」と「WEB版マッピングシステム（農産編）」を行う





9月5日、南十勝酪農女性プチサミットが開催された。このサミットは、砂子田円佳（JAひろお）実行委員長を中心に、金曾千春（JA大樹町）委員、三木睦子（JA大樹町）委員、高橋恵美（JA忠類）委員、協力 綾部京子（農業改良普及センター）氏の企画・運営などにより開催された。

開会にあたり砂子田実行委員長

からは、「酪農女性ならではの生活・仕事の思いや情報を皆で共有し、これからにつなげて欲しい」と挨拶。来賓を代表して坂井組合長からは、「この3町の酪農女性が集まるることは非常に有意義なこと。これからも農業を盛り上げて欲しい」と激励があった。

プログラムのはじめは十勝農業改良普及センター十勝南部支所地域係長 井堀克彦氏を講師に、「哺育牛の管理のポイント」について話題提供。子牛が立派な成牛になるための、乾乳期の管理、初乳給与、衛生管理、飼養環境、栄養管理について説明を受けた。

続いて田辺晃子（JAひろお）さん、河口晶子（JA大樹町）さんがパネラーとなり家庭や仕事の経験などについてディスカッションを行った。

その後は、昼食会場へ移動し、ビュッフェを楽しみながら、参加者達は交流を深めていた。

南十勝酪農女性プチサミット 3町合同開催!

日米貿易協定交渉に
関する陳情書を提出

7月1日、「日米貿易協定交渉に関する意見書」採択に関する陳情書を大樹町議会に提出した。



プログラムの最後として、「広尾町酪農音頭」を全員で踊り、閉会式ではJAひろお萬龜山組合長から「横の繋がりをしつかりと持ちながら、協力して活動をこれからも続けて欲しい」と講評。

最後に砂子田実行委員長から「これからも各地でサミットを行なう予定。みんなで作りあげて地域を盛り上げていきたい」と締めくくった。

大樹町農民協議会

そのため、わが国の食料主権及び食料安全保障が守られるよう町議会を通じて内閣総理大臣をはじめとする各担当大臣や衆議院議長等に対し、「農業者の不安を払しょくするため、米国の強硬な要求に屈することなく、関税削減・撤廃及び輸入枠拡大などを断じて受け入れない」ことを意見書として求め、9月の定例会で可決された。



スポーツの秋 みんなで元気に!

第23回パークゴルフ大会

9月7日、歴舟川パークゴルフ場において、第23回パークゴルフ大会を開催した。

当日は、会員46名（男性26名、女性20名）が参加。主催者を代表して川原会長から「心配していた天候も持ちこたえてくれそうです。日々の健康増進のためにも元気にパークゴルフを楽しんでいただきたい」と開会挨拶。また、JAを代表し坂井組合長より祝辞が述べられた。

		○男性の部	
		優勝	細田 久雄
		準優勝	斎藤 敏
		スコア 81	スコア 78
		3 位 今井 達夫	スコア 84
○女性の部		スコア 88	
		優勝 頓所真智子	
		準優勝 田中登志子	
		スコア 90	
		3 位 山川 和子	スコア 90
○砂金の部		スコア 88	
		優勝 丹羽 晃	
		準優勝 西田 貞夫	
		スコア 61	
		3 位 佐々木信雄	スコア 62

閉会式では、各部上位10名と特別賞、残念賞、飛賞の表彰式が行われた。成績は次の通り。



挨拶する川原会長



砂金の部 左から川原会長、西田さん、丹羽さん、坂井組合長



男性の部上位3名 前列左から斎藤さん、今井さん、細田さん



女性の部上位3名 前列左から田中さん、頓所さん、山川さん





応援に駆けつけた会員

9月28、29日の両日、安平町の北海道ホルスタイン共進会場で第17回北海道総合畜産共進会が開催された。

同大会は4年に1度開かれ、昨年が開催年であつたもののブラックアウトで中止となり、今年の開催となつた。審査員は審査部の田井道広次長と

千葉義博参事が務め、全道より出品された約430頭が体格や資質を競つた。

大樹町からは4戸4頭

(振別農事組合の株エン

ブルームーK、山下功典さん、尾田農事組合の(有)金丸牧場、開進農事組合の金曾浩文さん)の乳用牛

を出品、第14部4歳クラスで1等1席を獲得した



会場のようす

株エンブルームーK牧場(振別農事組合)所有のエンブルームーK スパークリングシエリー号が、見事グランドチャンピオン、シニアチャンピオンに輝いた。

同賞を祝う会が後日開催される予定。



第17回北海道総合畜産共進会
 (株)エンブルームーK(振別農事組合)が
 グランドチャンピオンを獲得!

農業者年金で生活の安定を考えませんか? 

終身年金で
安心!

知って得する農業者年金

農業者の方は、国民年金の上乗せの公的な年金「農業者年金」に加入して安心で豊かな老後を!

ポイント
1

農業者なら誰でも入れる「終身年金」です!



ポイント
2

一定の要件を満たす方には、月額最大1万円の保険料補助

認定農業者で青色申告している方やその方と家族経営協定を結んだ配偶者・後継者の方など一定の要件を満たす方には、保険料の国庫補助(月額2万円の保険料のうち最高1万円、通算すると最大で216万円)があります。

ポイント
3

加入で大きな節税効果!保険料は全額社会保険料控除の対象

生涯を通じて税制面で大きな優遇措置があります。

農業者年金の内容やご相談については、

最寄りのJAか農業委員会または農業者年金基金にお問い合わせください。

農業者年金基金

▶相談員TEL:03-3502-3199

▶企画調整室TEL:03-3502-3942

詳しくは <https://www.nounen.go.jp>

第44回 柏林公園まつり

「牛乳・乳製品消費拡大運動」・大樹町和牛生産改良組合「大樹和牛販売」

牛乳の無料提供



J A 大樹町では、9月22日に行われた第44回柏林公園まつりにおいて、牛乳・乳製品の消費拡大運動を実施。当日は、酪農振興課職員2名が出役し、牛乳の無料提供を行った。

用意された牛乳（300パック）は、提供開始直後から大人気で、約30分程で全て提供された。

第48回大樹町和牛まつり



大樹町和牛生産改良組合（岡本透組合長）では、9月22日に行われた第44回柏林公園まつりにおいて、役員と関係職員及び関係機関合わせて24名の出役のもと、大樹和牛の販売を行った。

今回販売された大樹和牛は、米谷牧場・（農）サンエイ牧場。十勝育成牧場から各1頭の計3頭分で、3,237パックを用意し、大樹和牛をPRした。

当日は天候にも恵まれ、来場者は秋空の下で焼肉を楽しんでいた。

新人職員紹介



たかはし りょう
高橋 諒

●所属

事業部 燃料課

●生年月日

平成4年4月7日

●出身地

大樹町

●前職

十勝清水町農業協同
組合

●趣味

DVD鑑賞

●抱負

組合員皆様の力になれ
るよう、日々の努力を怠
らず精いっぱい頑張りま
すので、よろしくお願ひ
いたします。

エルダーミセス定例会



9月12日、エルダーミセス定例交流会を開催、部員6名で帯広市の「真鍋庭園」へ向かった。

庭園入口にはNHK連続テレビ小説「なつぞら」に出てくる山田家の馬小屋が期間限定公開されており、園内に入っていくと、ヨーロッパを思わせる色とりどりの綺麗な景色が!! 1時間30分ほどかけて散策を行なった。

散策後は、「だいじゅ園 稲田店」でランチをとりながら、交流を深めた。

最後に「満寿屋 麦音」へ立ち寄り、ソフトクリームを堪能、話に花を咲かせながらの帰路となつた。



あれから1年。

2018年9月6日に発生した北海道胆振東部地震から1年が経ち、その間、JAグループ北海道に対して全国の皆様より、多大なるご支援をいただきました。そのご支援に対するお礼として、9月6日の朝日新聞と農業新聞に感謝広告並びに動画メッセージを掲載いたしました。私たちJAグループ北海道は今後とも、被災された組合員・組合員家族を支援して参ります。皆様方からのご支援、本当にありがとうございました。



北海道胆振東部地震に際しまして、日本全国からたくさんの応援や募金を頂きました。深く御礼申し上げます。

JAグループ北海道



あれから1年
ありがとうございます!
このQRコードの読み取りまたはクリックして下さい。
<http://ja-hokkaido.jp/tr/cm.php>

JA北海道信連



9月5、6日、東京都内で開催された商談会「インフォメーションバザール」に特別協力し、道内14JAとともに出展、道内の農畜産物や加工品を紹介しました。

今年はJA出展エリアの一角に「窓口」を設置しナビゲーター役が各JAのブースを案内したほか、バイヤーズガイド「なまらうまい！JA」を配布し、JAや特産品のPRに工夫を凝らし、より多くの人に道産の魅力を伝えました。



ホクレン



ホクレンと北海道米販売拡大委員会は、8月25日に開催された「北海道マラソン2019」の前日と前々日に、会場となる大通公園にて北海道産のもち米を使った「赤飯おこわ」を無料配布しました。マラソンでは、グリコーゲンなどが豊富な食物により体内にエネルギー源をため込むことが推奨されていることから、例年に続きこの取り組みを実施。特設会場で「エナジーブース」という看板を掲げ、もち米が有効であることをアピールしました。



JA共済連北海道



JA共済連北海道は、大規模な災害が起きた時の備えとして、災害時に利用できる「非常用給水タンク10リットル」10万個を全道JAに配布いたします。

飲料水や生活用水等の確保に利用することが可能で、9月上旬から配布し、災害への備えの意識向上を呼びかけます。

JA共済連は、組合員・地域住民の安全・安心に貢献できる活動にこれからも取り組んでいきます。



JA北海道厚生連



7月26日(金)岡山県で開催された「第60回日本医師ドック学会」の中で、全国の4施設が医師ドック健診施設機能評価優秀賞に選出され、その1施設として旭川厚生病院が表彰されました。今般、平成30年度に医師ドック健診施設機能評価を受審した施設を対象に選考が行われ、「健診当日に健診結果を説明している」「専門スタッフが保健指導を実施している」「精密検査や治療が必要な受診者に対するフォローアップが適切である」が評価され、医師ドック健診施設機能評価優秀賞に選ばれました。



JAグループ北海道の連合会・中央会の活動内容を紹介します。各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。



十勝農業改良普及センター 十勝南部支所通信

今日から始める農場のチェックリスト No.5

農場内畜舎間の病原体拡散防止のための管理点検

牛への病気感染を防ぐには、農場の衛生管理レベルの向上が欠かせません。農場の現在の管理を点検して、「農場内畜舎間の病原体拡散防止」のために対策ができているか○×で確認してみましょう。

○チェックリスト

No.	チェック項目	判定	解説
1	作業者が使用する衣服を定期的に消毒交換する		糞、鼻水や涎（よだれ）などで汚れた長靴や衣服により、作業者が病原体の伝搬者（キャリア）になる可能性があります。
2	畜舎毎に長靴洗浄消毒設備（踏み込み消毒槽等）がある		
3	畜舎を出入りする際に手指、長靴等の消毒を実施している		
4	畜舎の清掃を実施		栄養たっぷりで適当な水分と温度があると、病原菌はものすごい勢いで増殖します。畜舎内の清掃と定期的な消毒が必要です。
5	畜舎の消毒・石灰塗布を定期的に実施している		
6	水槽・ウォーターカップは衛生的に管理している		サルモネラ症・ヨーネ病など多くの伝染病は経口感染します。直接、口をつける水槽は常に衛生的に保つ必要があります。
7	犬や猫を畜舎内に侵入させないようにしている		導入牛、カラスなどの野鳥、犬、猫、ねずみ、ハエなどの動物が病原体の伝搬者（キャリア）になる可能性があります。
8	畜舎内にねずみ、野鳥が侵入しないよう対策をとっている		

最近ちょっと気になること。



病原体は水にのって
やってくる！

春先の融雪水や近年の集中豪雨で畜舎に向かって水が流れないように排水口の整備や、牛の飼養場所を高くする必要があります（とくにかよわい哺育牛の飼養場所）



希釈倍率による色の濃さ

(ビルコン S®の場合)
(根室農改営農改善資料より引用)

踏み込み消毒槽の効果を発揮するには…。

消毒液は有機物（土や糞尿などの汚れ）が混入すると消毒効果が低下します。必ず長靴の汚れを落とすための水洗い槽もしくは水洗い場を併設しましょう。ブラシを用意して長靴の汚れをしっかり落とした後に消毒します。

消毒液は適切な濃度で作らないと、十分な消毒効果を発揮することはできません。

JAと農業 監修-JCA
(日本農業組合連携機構)

農協法と農業協同組合

戦後、地主から小作人へ農地が解放され、多くの農民は自ら所有する農地で農業を営む自作農となりました。こうした農地改革の成果を守るために、「農業者の経済的・社会的地位の向上」を掲げる農業協同組合法(農協法)が1947年11月に公布され、農協(JA)が全国各地に設立されました。その際に、農協の前身である農業会や産業組合では農民以外も構成員となり事業を利用できたことなどから、農協においても農民以外の地域住民に准組合員として加入の途を開きました。

これまで農協法は度々改正されてきましたが、2015年の改正では、農業の成長産業化を目的とするいわゆる「農協改革」を具体化するための見直しが図されました。JAグループでは、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」等を目標とする自己改革に取り組んでいます。また、准組合員についてはこうした目標を後押しするパートナーとして位置づけ、食や農に関わるさまざまな参加の場づくりを進めています。

【改正農協法】(かいせいのうきょうほう)<2015>
JAが「自由な経済活動を行い、農業所得の向上に全力投球できるようにする」ことを目的としており、農業所得の増大へ最大限配慮することや理事の過半数を認定農業者等にすることなどが定められました。准組合員の事業利用規制については、政府が施行日から5年間調査等を行った上で結論を出すことが付則に明記されました。

- 1900年 「産業組合法」
ドイツの「産業および経済協同組合法」が基となっています。
- 1947年 「農業協同組合法」
「農業生産力の増進および農業者の経済的・社会的地位の向上」を目指す。
● 様々なJAの誕生
- 1992年 愛称が「JA」に決定
JAマークへ
- 2015年 農協法改正
「農業所得の増大に最大限の配慮をしなければならない」ことが明記された。
理事等構成の変更、中央会制度の廃止などが盛り込まれた。
准組合員の事業利用規制が検討事項に。
● 2016年の施行後5年間の調査、検証

耕そう。大地と地域のみらい。

11月は、労働保険適用促進強化期間です！

事業主の皆さん。労働保険の加入はお済みですか。

労働保険に加入して、従業員の方々が安心して働く職場にしましょう。

労働保険とは、労災保険と雇用保険の総称で、労働者の生活の安定、福祉の増進等を図ることを目的に、国が直接管理運営している保険です。農林水産業の一部を除き、労働者を一人でも雇用する事業については、法人・個人を問わず加入が義務づけられています。

問い合わせ先：厚生労働省北海道労働局総務部労働保険徵収課 (☎011-709-2311)
または最寄りの労働基準監督署・公共職業安定所(ハローワーク)

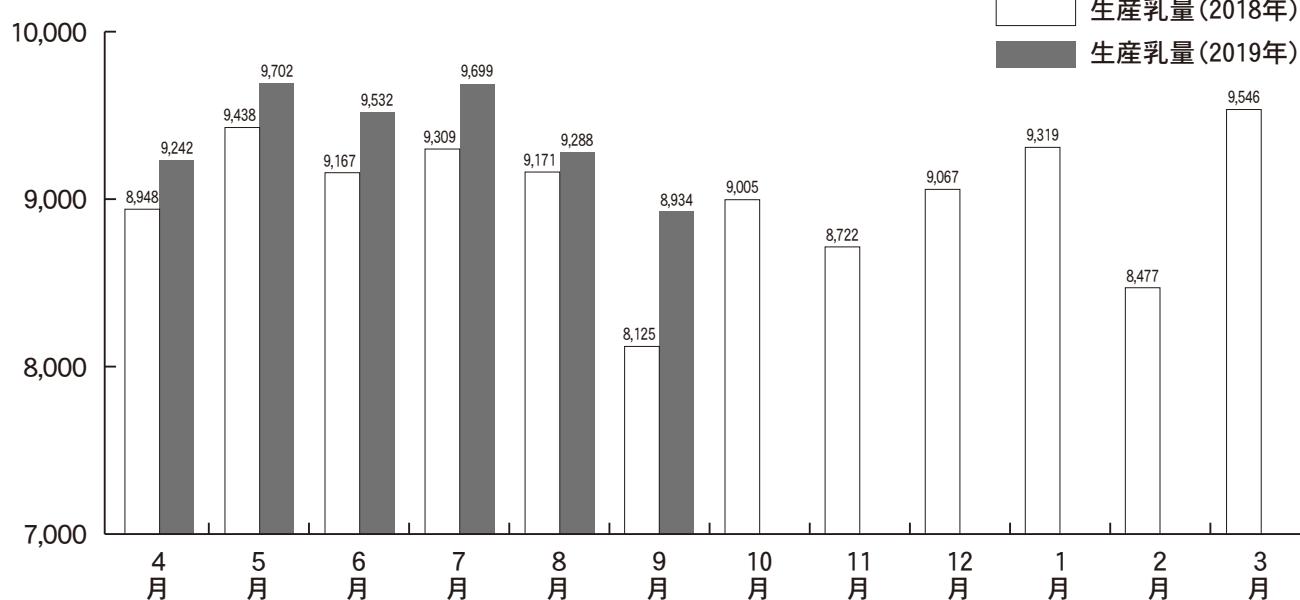
11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	★報告事項
について	て	組合員の異動について	理事に対する資金の貸付	農作物生育状況定期調査	結果について	農産物出荷状況について	令和元年産豆類の取扱い	について	農作物生産会（肉牛）の成績について	第17回北海道総合畜産共	



第8回 9／30

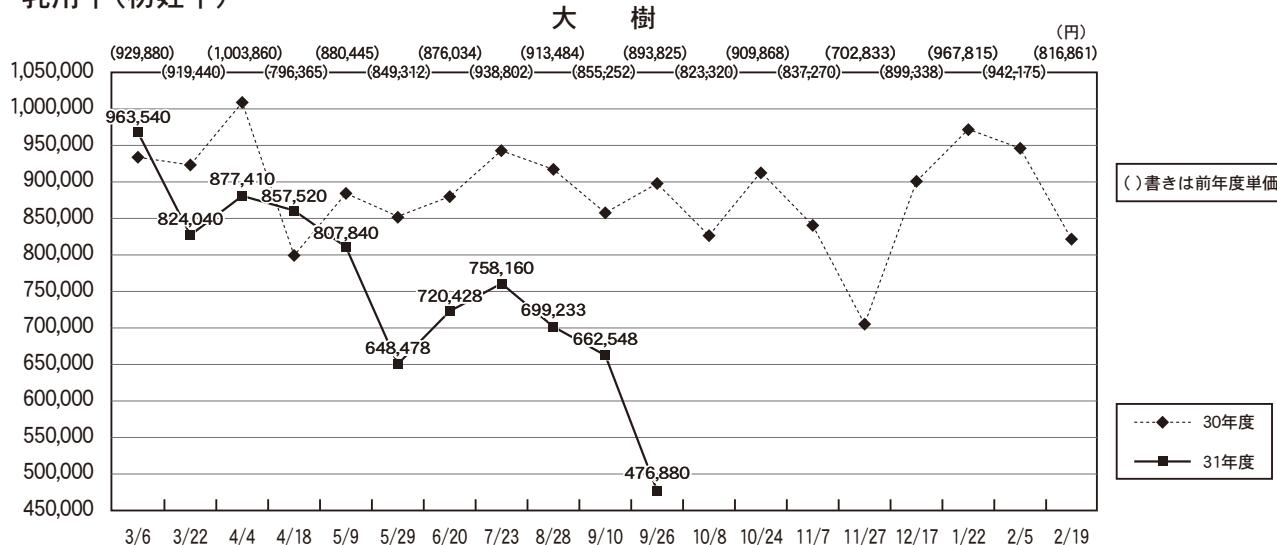
理事会の動き

令和元年度 9月 生乳生産動向

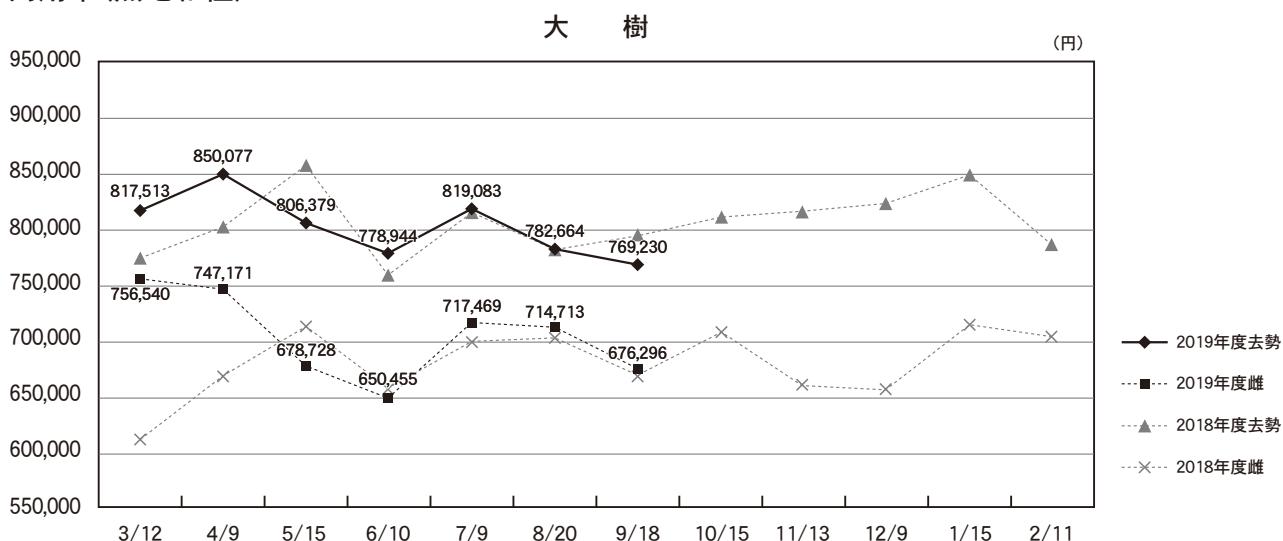


家畜市場の成績

乳用牛(初妊牛)



肉用牛(黒毛和種)



正解者10名に大樹TMOカードが当たる

頭の体操 クロスワードパズル

クロスワードパズル

タテのカギ

- ①ピーヒヤララと吹きます
③ご指導ご——のほどよろしくお願ひします
⑥車を運転するのはドライバー、バイ

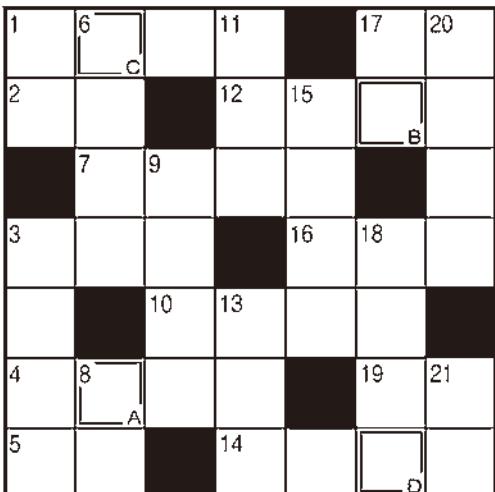
クの場合は

- ⑧日本人の主食です
⑨ピサの斜塔がある国
⑪穂が美しい野草

- ⑬大きく立派な家のこと
⑯彼は上司にも——置かれる存在だ
⑰生兵法は大——のもと

- ①ボジョレー・ヌーボーを輸出する国
②沖縄の海にいるマンタもこの仲間
③アルファとガンマの間です
④一つのコンセントに多くの機器をつなぐ——配線
⑤マニキュアを塗る物

- ⑦とても良いとされるおみくじの運勢
⑩不要な部分を省いて描きます
⑫灰皿にたまる物
⑯結婚式を行うこと
⑯カエデの別名です
⑯化粧水や乳液でスキン——をした



ヨコのカギ

- ⑮彼は上司にも——置かれる存在だ
⑯生兵法は大——のもと
⑰彼は上司にも——置かれる存在だ
⑱生兵法は大——のもと

- ①ボジョレー・ヌーボーを輸出する国
②沖縄の海にいるマンタもこの仲間
③アルファとガンマの間です
④一つのコンセントに多くの機器をつなぐ——配線
⑤マニキュアを塗る物

- ⑦とても良いとされるおみくじの運勢
⑩不要な部分を省いて描きます
⑫灰皿にたまる物
⑯結婚式を行うこと
⑯カエデの別名です
⑯化粧水や乳液でスキン——をした

■解き方 || 普通のクロスワードの要領で全部を解いて下さい。

次にA→Dの二重ワクの文字を順に並べると、一つの言葉ができます。それが答えです。

締切り || 11月10日 (当日消印まで有効)

届出 || 本所企画管理課、生産資材課の専用投書箱へ。

とじ込みハガキをお使い下さい。郵送する場合は63円切手をはつて下さい。

■賞品 || 大樹協同商事商品券 (正解者多数のときは、抽選で10名の方に)

■職員とその家族の方はご遠慮下さい。

■10月号の応募者は15名で、全員が正解されました。抽選の結果、次の方々が当選しました。

当選した方には大樹TMOカードをお届けいたします。

(振別)瀬川勝子さん

(拓北)吉田とみ子さん

(尾田)細谷絢子さん

(東和)佐藤あやめさん

(下大樹)佐々木弘子さん

(萌和)阿部力ホルさん

(前田)戸田繁樹さん

(茅武)前田真奈美さん

(歴舟)遠藤さよ子さん

(美成)小島未森さん

10月号の答え

A B C D E
ジ ャ ガ イ モ
でした。



今月のレシピ



スペアリブの煮込み

材料（2人分）

スペアリブ…4～5本

皮付きショウガ…1片

ゴボウ…1本

下ゆでした小松菜…1束

塩…適宜

煮汁

水…900ml

しょうゆ…200ml

みりん…100ml

料理酒…100ml

砂糖…100g

作り方

(1)スペアリブに当て塩をしてビニール袋に入れ1晩置く。

(2)鍋に(1)を入れ水から軟らかくなるまで下ゆです。

(3)別の鍋に煮汁を合わせ、(2)と薄切りにした皮付きショウガ、食べやすい長さに切ったゴボウを入れ、強火で15分程度煮る。

(4)器にスペアリブ、ゴボウ、食べやすい大きさに切った小松菜を盛り付け、煮汁を回し掛け出来上がり。

イラスト・情報コーナー

イラストは濃くていねいに書いて下さい。
(あまり薄いと掲載出来ないことがあります。)



美成
小島未
森ちゃん(9歳)



東和
AYAM Eちゃん(9歳)